

都立野津田高等学校 グランドデザイン

【教育目標】

- (1) 生徒一人一人が『未見の我』を発見し、未来をつかむ能力と態度を養える学校
- (2) 人権尊重の精神を育成し、共同生活体制としての連帯感や所属感を養える学校
- (3) 権利と義務、自由と責任との調和を図りつつ、自ら学び考え行動できる能力を養える学校
- (4) 生徒の基礎学力の充実を図り、学力向上を目指せる環境づくりに積極的に取り組む学校
- (5) 教員が授業改善と授業力向上に取組み、将来の進路実現を目指せる学校
- (6) 生徒が希望する進路実現に向けた3年間のキャリア教育を、組織的に実施できる学校
- (7) 体罰の根絶と不適切な発言に十分配慮を行い、教員と生徒が互いに尊重し、コミュニケーションを通じて信頼関係が醸成できる学校
- (8) 生徒・保護者・地域と連携を図り、積極的に情報を発信するとともに、期待や要望に応えて、肯定的な高い評価を受ける学校

【中期目標】

- (1) 基礎学力の定着と希望する進路希望の実現
- (2) 普通科・福祉科・体育科の個性化・特色化の推進
- (3) 基本的生活習慣の確立と心身の健康の向上

【生徒/学校の現状】

- 多摩地区の都立高校の中では、普通科としては、最下層に位置し、都立に入りたい生徒の最後の受け皿となっている。
- 一度も学校見学に来ないで入学してくる生徒がいる。3割強
- 不本意入学やミスマッチ、校外の友人関係などにより転退学者していく生徒も多い。
(元年度までの3年間平均 59.3名→R2年度 27名)
- 進路実績 R2年度(四年制大学 26%、短期大学 3%、専門学校 37%、就職 23%、その他 11%)
- 部活動加入率 R2年度 58% ○授業満足度 R2年度 81%
- <福祉科> ○介護福祉士国家試験 過去5年間平均、合格者割合90.0%
- <体育科> ○全国大会4年連続出場 H29・H30・H31・R2(陸上競技部)、関東大会出場(陸上競技部)
東京都大会ベスト8(女子サッカー部 H30、男子サッカー部 H26)
ベスト16(男子バドミントン部 H29)、
ベスト32(男子バドミントン部 H31、女子バドミントン部 H29・R1、女子バレーボール部 H29)
ベスト64(女子バレーボール部 R1・R2)
- 学習面…基礎的・基本的な学力や知識に不安がある生徒が少なからずいる。
- 生活面…基本的生活習慣の定着に課題のある生徒がいる。
自転車登校は4割強あり、交通ルールの順守については課題がある。
- 進路面…一般受験よりも推薦や総合型選抜、AO等を利用した進路活動が主である。
将来像を描けきれない生徒がいる。

【学校教育を通じて育てたい生徒の姿】

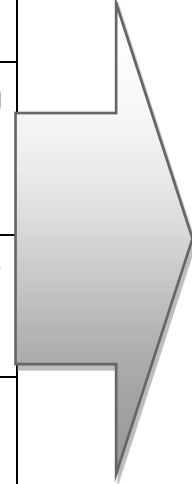
- (1) 多くのことを頑張りきることによって「未見の我」を発見し、その可能性を自ら伸ばしていくために、自分で自身を成長させることができる生徒
 - 社会で活躍するために必要な「社会人基礎力」を身に付けた生徒。
 - 本校卒業を誇りに持てる生徒。
- (2) 共生社会で活躍するために、自らの価値を高め、規則だけでなく、モラルやマナー、エチケットなど、思いやりとやさしさに基づく自らの規範意識をもち、他者を尊重し、自分を大切にできる生徒
 - 基本的生活習慣を確立し、ルールやマナーを守り、他を思いやる心を育もうとする生徒。
- (3) 真摯な姿勢で学習や生活に臨み、基礎学力を定着させ、さらに将来の目標や希望に向かって努力を継続し、自己実現を果そうとする意欲を持った自己肯定感の高い生徒
 - 基礎学力をしっかりと身に付けたうえで、希望する進路実現を果たせる生徒。
 - 自己肯定感の高い生徒。

【育成すべき資質・能力】

- 学び直しを含めた基礎的・基本的な学力
- 情報モラルを含めた規範意識が高く、自分自身を自然と律することができる能力
- 自分の将来像を描くことができ、社会的自立ができる能力
- 個人を尊重した上で、適切にコミュニケーションできる能力
- 学校行事など特別活動を大切に、責任感や自主性を身に付け、他者と協働し、主体的に取り組むことができる能力
- 命に対する畏敬の念を持ち、自己肯定感・自己有用感とともに他者の多様性を受け入れられる資質
- 介護にかかる資格を取得する能力
- 地域スポーツのリーダーとなりうる資質

【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
基礎的・基本的な学力	中学校までの内容が理解できる。	高校の基礎的内容が理解できる	習得した基礎・基本的な知識を活用することができる。 就職・公募推薦・総合型選抜・AO入試 合格レベル
規範意識	他者に迷惑をかけない。 身だしなみを守ることができる。	授業規律を守ることができる。 挨拶ができる。 時間を守ることができる。	自分を律することが自然にできる。 近隣・地域からの評価が高い。
社会的自立ができる能力	自分自身の傾向や適性等を把握することができる。	自分自身の将来の生き方・在り方を考え、 進路活動に取り組むことができる。	自分自身の適性を生かし、具体的な進路選択をして、 進路実現に取り組むことができる。
コミュニケーション能力	他者の意見を集中してよく聴くことができる。	相手の意見をよく聴いたうえで、自分の意見を 自分の言葉で的確に表現できる。	相手の意見を共感しながら聴いたうえで、自分の 考えを表現し、意思の疎通ができる。
主体性・協働性	他の人の迷惑となることとはどういう行為なのかを判断することができる。	相手の立場を考え、その場に応じた状況判断が でき、適切な行動ができる。	学習活動や特別活動等において、他者と協働し、主体的 に取り組むことができる。
多様性	自分と他者との違いを理解できる。	自他の個性を尊重でき、人権について考える ことができる	いじめや差別のない社会の実践に取り組むことができ る。
自己肯定感・自己有用感	自分の良さを知ることができる。 与えられた目標を少しずつ達成することができる。	他者の良いところを見つけることができる。 他者を手助けすることができる。 目標を自ら定め、その達成に近づいていくこと ができる。	社会に貢献する喜びを得る体験を通し、 自ら定めた目標を、達成していくことができる。
『福祉』に関する資質・能力	福祉等に興味・関心を持ち、対人援助に関 する職に求められる力が理解できる。	専門職に就く自覚を持ち、ボランティア、実習 や教科活動に主体的、積極的に取り組むことで 必要な力を身に付けることができる。	介護福祉士の国家試験に合格し、福祉を推進しようと する態度を身に付けることができる。
『体育』に関する資質・能力	自らの体育技能を高め、地域スポーツに貢 献できるような資格取得に向けて努力で きる。	自らの体育技能をさらに向上させ、資格取得に チャレンジできる。	将来生かせる資格を習得することができる。 地域スポーツに積極的に取り組むことができる。



目指すべき
生徒の将来像

社
会
必
要
な
躍
「
す
社
会
た
人
め
基
身
に
礎
に
力
付
」
け
を
た
生
徒